

◆第2回研究会 (2021年10月6日)

研究会メンバーから**自社の強み（コア・コンピタンス）、長期ビジョン・ありたい姿・パーパス、創造したい社会的インパクト**について発表、討議を行うとともに、ファシリテーターより、SDGsを経営戦略へ実装するための考え方等についてのプレゼンテーションを行いました。

●各社からの発表及び意見交換 ……140分

2050年のありたい姿	会社の役割や存在意義（パーパス）
1. 人間にも地球にもやさしいものづくり	1. 電気を作り、それを使う機器に必要な部品を供給する
2. ZEF（Net Zero Energy Factory）の実現	2. ケミカル技術を通して、人々の幸せを創造する
3. 「有機農産物普及業」としてこの国策実現を最先端でリードする企業	3. 「有機農産物普及業」として、持続可能な農業を後押しし環境と健康に寄与する。
4. ものづくりを通じて人々の未来を明るく照らす	4. 「ライフサイエンス」「環境」「エネルギー」分野のものづくり支援を通じて、人々の未来を明るく照らす。
5. イノベーションの加速とカーボンニュートラル社会の実現への貢献	5. 環境に優しく最適な空気のソリューションを届ける。
6. 船舶の安全運行を持続的に支える商品、サービスにおけるリーディングカンパニー	6. 船舶の安全航行を支え、世界の平和に貢献する。
7. 社会的課題を創造とイノベーションで解決し、社会に貢献する人と会社	7. 「心を高め社会と共生する。全従業員の物心両面の幸福を追求する。」
8. グローバルトップ技術（GTT）で社会課題の解決に継続して貢献	8. 「はたらく車を通して、人類の発展に貢献する企業の経営」
9. 建設労働負荷を軽減できる、加工機械の製作。基礎づくりに欠かせない企業となる	9. 地下と水の技術で明日の美しい地球環境づくりに貢献

（参加者の声）

研究会を契機に、若手職員のグループを立ち上げ、外部機関を交えた議論を行ったことで、経営戦略にSDGsを入れるきっかけとなった。

●プレゼンテーション SDGパートナーズ(有) 田瀬代表 ……75分

①時間的逆算思考（ムーンショット理論）

・既存の延長線上にない壮大な目標を打ち立てて、目標達成に向けて、**必要な施策を逆算（バックキャスト）**して考えること。

②論理的逆算思考（演繹的イノベーション）

・イノベーションは、「人間のありたい姿」から逆算して（演繹法的に）起こすべき。
 ・デザイン思考：人間視点で「いいね」を考え、何が「正しい」かではなく、直感、感性、共感などを発想の源として考える。
 システム思考：論理、構造、分析、既存の計画などを発想の源とする。
 論理的に「正しいか」が重要で、失敗を分析して成功する。

③リンケージ思考（レバレッジ・ポイント理論）

- 1) **レバレッジ・ポイント**（複数の因子に影響を与える槌子の力点）を発見する。
- 2) 企業が自らの強みで動かせるレバレッジ・ポイントを起点に、**SDGsドミノ**（正の連鎖反応）を創り出す。
- 3) SDGsドミノを倒すためには、**コア・コンピタンス**が必要で、これが利益につながる。



今回の参加メンバー（場所：九州経済産業局会議室）

●次回研究会

自社のありたい姿や課題を踏まえた事業アイデアについて、各社から発表。社内外浸透に向けたアクションプランの策定についてのプレゼンテーション。